

○発行日：令和4年8月15日(月)
 ○発行：東京都合気道連盟
 〒162-0056
 東京都新宿区若松町17番18号
 (公財)合気会内
 電話：03-6457-3315
 F A X：03-6457-3317
 e-mail：info@tokyo-aikido.com
 https://www.tokyo-aikido.com/
 発行人：藤城 清次郎
 編集責任者：美濃部 智子

合気道

道主植芝守央

東京都合気道連盟広報



理事長挨拶	2
第38回評議員会	2
令和3年度少年部指導法講習会	3
令和3年度東京都地域社会合気道指導者研修会	3
令和4年度東京都合気道錬成大会	4
令和4年度初心者指導法講習会	4
第59回全日本合気道演武大会に出場して	5

生涯スポーツ功労者表彰を受けて	6
スポーツ優良団体表彰を受けて	6
新規加盟団体紹介	7
加盟団体紹介	8~9
新役員紹介	10
主要行事予定	11
評議員会資料	11

ご挨拶



東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎

日頃、皆様には東京都合気道連盟の活動に、ご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去る四月九日(土)、一ツ橋の日本教育会館で東京都合気道連盟第三十八回評議員会が開催されました。感染予防の一環としてオブザーバーの参加をいただかず評議員、役員のみで参加でした。

昨年度の事業報告・収支決算報告、本年度の事業計画案、収支予算案が全て承認されました。今年は三年に一度の役員改選の年にあたり、今評議員会で十五名の理事と二名の監事が選出、承認されました。私、藤城清次郎が引き続き理事長を拝命、副理事長に、大田勤、神谷正一、鈴木俊雄、木下悦子、小柳俊郎の五氏が就任。今回の改選に伴い、三名の理事、一名の監事のご退任と重任理事十四名、新任理事一名、新任、重任監事各々一名が就任しました。

ご退任の小林正明前副理事長は、九期二十二年間、松本肇前理事は、三期九年間、

高城寛子前監事には、一期三年監事をお務め頂きました。改めて深く感謝申し上げます。又、理事を二期六年務められた梶浦真氏が監事に就任、新たに中島敬二氏が理事に就任しました。

東京都合気道連盟では、年間四主催事業を開催しています。『東京都合気道錬成大会』(六月十九日(日)・七月三十一日(日))には『初心者指導法講習会』が既に開催されました。しかし、来る九月十九日(月・祝)開催予定の『令和四年度東京都合気道演武大会』は七月十一日(月)開催の都連第三十三回理事会に於いて演武大会開催中止が決定されました。現況の新型コロナウイルス感染者数の増加状況が顕著であり、新株「B.A.5」の出現も報じられ第七波の到来ともされています。中止にご理解頂きたく思います。

ほかに、東京武道館主催の『広域合同稽古』、隔年開催の『練成講習会』(公財)日本武道館・(公財)合気会共催の地域社会合気道指導者研修会と多くの講習、稽古の機会を用意しています。多くの皆様のご参加お待ちしております。(行事予定は十一頁に記載)

東京都合気道連盟は、全日本合気道連盟最大の加盟団体で、合気会のお膝元としての重い立場にあります。我が都連が確り纏まり運営し全日本連盟の範となるように努めなければなりません。更なるご支援を賜りたく存じます。

文末にあたり皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

第三十八回 東京都合気道連盟評議員会開催

令和四年四月九日(土)千代田区一ツ橋・日本教育会館に於いて、第三十八回東京都合気道連盟評議員会が行われた。前回の評議員会は、前々回に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対面ではなく文書決議となったが、今回は十分な感染防止対策を講じて対面で開催された。

会議は、午後三時から加盟団体の評議員三十七名及び委任状百四名をもつて開催された。顧問である全日本合気道連盟尾崎响理事長及び福島清三郎相談役の臨席も得た。

大田勤副理事長が開会の辞を述べ、藤城清次郎理事長が挨拶の後、議長となり議事に入った。始めに神谷正一副理事長から「令和三年度事業報告案」が報告された。続いて鈴木俊雄副理事長から「令和三年度収支決算案」、堀越祐嗣監事から「監査報告」が報告され、承認された。



今回は、三年の任期満了に伴う役員改選も行われたが、これに先立ち、出席の評議員から「評議員会の前に新役員候補の情報が示されておらず、役員候補者の選考基準や選考方法についても明示されていない」との問題提起があり、「開かれた評議員会の為に、評議員が納得できる理事選出方法の構築が必要である」との指摘があった。これに對して、大田勤副理事長から「選出方法をより良い方法にするために、全評議員に對して

意見を募り、今後の課題として来期取り組んでいく。」と説明があった。

続いて、役員候補者(案)が配布され、評議員の承認により、新たな理事及び監事が決定された。その後、別室にて新任理事による理事長選出の理事会が行われ、選挙によって藤城清次郎理事長に再任された。そして大田勤氏、神谷正一氏、鈴木俊雄氏、木下悦子氏、小柳俊一郎氏の五名を副理事長に指名し、理事会にて承認された。その後、評議員会会場にて新役員が紹介された。今回退任された小林正明前副理事長、松本肇前理事及び高城寛子前監事の他は、役員全員が再任されるとともに中島敬二氏が新たに理事に加わり、前理事の梶浦真氏は監事に選任されたとの紹介となった。(新役員の抱負は十頁に記載)

続いて、再任された藤城清次郎理事長が議長となり、神谷正一副理事長から「令和四年度事業計画案」、鈴木俊雄副理事長から「令和四年度収支予算案」がそれぞれ説明され、こちらも承認された。

最後に、出席していた小林前副理事長、松本前理事から退任の挨拶が行われ、長年のご功労に對する感謝と労いの拍手を受けられた。

会議は午後四時四〇分に終了し、情報交換会は感染拡大防止のため見送られた。

令和三年度 少年部指導法講習会

令和元年度から東京都合気道連盟の新たな事業として開催予定としていた少年部指導法講習会は、コロナ禍の影響により令和元年度及び令和二年度の開催は中止となっていた。

このような状況のなか、令和三年度少年部指導法講習会は関係各位のご理解とご尽力により、令和四年二月二七日(日)、港区スポーツセンター武道場一に於いて、人数制限



などのコロナ感染対策を徹底して開催した。講師に梅津翔本部道場指導部指導員をお迎えし、講習会参加者は三十五名、当連盟理事は十四名が参加した。

十三時四十分開会の辞に始まり、当連盟藤城清次郎理事長より主催者挨拶を行った。続いて港区合気道連盟 関根史郎会長を紹介の後、梅津指導員より挨拶があった。

講習は、本部道場少年部の稽古に準じ、体操、後ろ受け身、前受け身、体力作りの運動、膝行、技(正面打ち入り身投げ、正面打ち一教、片手取り四方投げ)が行われた。

受け身の指導では、ケガをさせないよう、段階的な指導を強調され、また子供が飽きない様に声かけをする方法を、例をあげて指導がなされた。走る、ジャンプといった体力作りの運動もただ行うのではなく、技につながるように行う方法を工夫し、技においても、受けが取れないうちは、一教の受けだけを単独動作で行う方法や、四方投げの肘関節を極め切らない方法などが指導された。

また指導者は、子供の成長や状態に合わせて指導内容を調整することが望ましいと説明された。

最後に参加者から少年部指導の中で生じる質疑に、梅津指導員より丁寧な回答を頂き、参加者からは、実践的で具体的な方法を多く提示して頂いたので、非常に有益な講習会であったと感想を頂いた。

最後に閉会式を行い、十四時四十分講習会を終了した。

(記・小柳)

令和四年度東京都(足立区)地域社会合気道指導者研修会

令和四年三月五日(土)・六日(日)の二日間、東京武道館第一武道場に於いて、令和三年度東京都(足立区)地域社会合気道指導者研修会が開催された。二日間を通して研修に参加した団体は三十四団体、人数は六十三名が参加した。

開会式は、東京武道館 石崎万里課長が開会通告を行い、東京武道館 村上修史館長より主催者挨拶に続き、東京都合気道連盟 藤城清次郎理事長より主管団体挨拶を行った。

講師は以下の四名である。

◇中央講師

横田 愛明

合気道本部道場指導部師範

藤田すみれ

合気道本部道場指導部指導員

◇地元講師

藤城清次郎

東京都合気道連盟理事長

大田 勤

東京都合気道連盟副理事長

当連盟理事は十一名が参加し、複数回にわたり道場全面のアルコール消毒清掃、手指消毒の実施など参加者の協力を得て可能な限りコロナ対策を行い、研修会の運営に協力した。初日午前中の実技では、横田師範より



「変化・応用に於ける考察」のテーマのもとが基本として片手持ちの持たせ方から講習が始まり、片手持ち転換、呼吸投、四方投と基本技から徐々に変化、応用技への展開が指導された。また剣や杖の動きを交えながら様々な技が指導された。初日午後

の講義は、藤城理事長より「第九回全国合気道指導者研修会」の報告と怪我の初期対応について、DVD上映を交えて講義が行われた。

続いて、大田副理事長の講義では、「合気道指導の手引き」に基づいた「合気道中級指導の一考察」の実技指導が行われた。二日目は横田師範より実技が終日行われ、正面打、横面打、後ろ両手取り、肩取りなどに対する各種変化・応用技の数々を指導された。最後に参加者からの日頃の疑問点に関する質疑に、横田師範より様々なアドバイスがあった。

閉会式では藤城理事長より参加者に修了証が授与され、石崎課長より閉式通告がなされ研修会は終了した。

(記・梶浦)

令和四年度 東京都合気道錬成大会

令和四年度東京都合気道錬成大会が六月十九日(日)東京武道館第一武道場にて東京都合気道連盟主催により開催されました。講師は栗林孝典本部道場指導部師範を



お招きし、三十三団体、六十五名が参加しました。

十三時十五分より錬成大会事業主任である瀬川一之東京都合気道連盟理事の司会により開会式を始めました。藤城清次郎東京都合気道連盟理事長による開会挨拶が行われ、栗林師範の紹介並びに挨拶が行われました。開会式後、二時間の講習会が行われました。感染対策として稽古相手を交替せず、組んだ相手を記録し、稽古中はマスクを着用しました。途中随時休憩を挟みながら水分補給が行ないました。

栗林師範は、初めに相手を投げずに、基本の動きを受けと取りでしっかりと確認し、それから相手を投げる様に指導されました。片手取りから転換法、両手取りから呼吸法、天地投げ、四方投げ、後ろ両手取りから捌きによる投げ、一教、小手返し、最後に座技呼吸法を行いました。

途中、栗林師範は、技の説明だけではなく、合気道の稽古に対する向き合い方、指導者としての心構えなどに対してのご意見も説明されました。参加者にとっては通常稽古では得られない、とても有意義なものとなりました。

講習会終了後、閉会式が行われ、栗林師範より今日の錬成大会に対する講評を頂きました。最後に木下悦子東京都合気道連盟副理事長による閉会挨拶が行われ、令和四年度東京都合気道錬成大会は無事に終了しました。

(記・大橋)

令和四年度 初心者指導法講習会

東京都合気道連盟主催による令和四年度東京都合気道連盟初心者指導法講習会が七月三十一日(日)、講師に桂田英路本部道場指導部師範をお招きし、一般財団法人港区体育協会、港区合気道連盟協力のもと、港区スポーツセンター武道場一にて開催され、二十五団体三十四名、役員十二名が参加しました。

記念撮影の後、東京都合気道連盟 大田勤副理事長司会のもと開会式が行われ、藤城清次郎理事長により「素晴らしい会場を提供してくださった港区体育協会、港区合気道連盟のご尽力と、講師をお引き受けくださった桂田師範に感謝を申し上げます。新型



コロナウィルス感染者の拡大により開催の可否について悩ましいことではありましたが、万全の備えをしながら今日に至りました。充分に感染に気を付けながら、また熱中症にも気を付けながら講習に参加して欲しい」と主催者挨拶がありました。続いて、桂田師範より「いろんな年齢の方、運動神経の良い方悪い方等を想定しながら進めて行きたいと思う」と挨拶がありました。続いて司会から港区合気道連盟・関根史郎会長の紹介がありました。

講習会は十三時二十分から開始され、マスク着用、稽古相手の記録(組替無)、適宜休憩や水分補給、手指消毒等、感染症対策及び熱中症対策を講じて行われました。桂田師範より、初心者に対する準備体操の行い方、呼吸、受身、転回足、片手取り四方投げ、正面打ち入身投げ、正面打ち一教、正面打ち小手返し、両手取り天地投げ等の指導が行われました。

また、技の名称や動きにとらわれず姿勢に集中する指導法や、高齢者や学生など各々に合ったアプローチも大切だと指導があり、最後に座技呼吸法の指導がありました。

閉会式では、桂田師範より「せっかくご縁があつて合気道を始められた方に稽古を続けてもらいうよう導くのが指導者の役目だと思ふ。いろんな要素を持った方と真剣に向き合いながら、国や地域に役立つ人材を育成できたら最高だと思ふ」と挨拶があり、午後三時講習会が終了しました。

(記・美濃部)

第五十九回全日本合気道演武大会に出場して

北千住道場

堀越 祐嗣

まずは開催にあたり御尽力下さった皆様
に心より感謝申し上げます。コロナ禍での開
催には多大な御苦労があったことは想像に難
くありません。また、都連代表としての貴重
な機会を与えて下さりました藤城理事長始
め都連役員の皆様にも感謝の意を表します。



当日は、梅雨入り前の晴天に恵まれ、日本
全国から私の想像以上の道場が参加し、それ
ぞれが日頃の稽古の成果を披露されており
ました。開催にあたり、健康観察票の提出、
一面あたりの人数制限、無観客等コロナ対策
には万全を期しておりました。普段とは異
なる形で開催されましたが、コロナ禍でも日
本中で稽古が続けられていることを知り勇
気づけられました。また、三年振りに日本武
道館で開催されたことは、少しづつではあり
ますがコロナ前の日常に近づいている事が実
感出来ました。新型コロナウイルスの一日も早
い収束を願い、通常の稽古や交流が出来る事
を心より期待致します。

都連有志が

全日本の団体演武に出場

東京都合気道連盟(以下「都連」)は、五月
二十八日(日)に日本武道館で三年ぶりに開
催された第五十九回全日本演武大会の団
体演武に出場した。例年都連の団体演武は
なかったが、大会事務局から要請があり、こ
の対応のため急遽理事会から出場者を募つ
た。これに応じて、美濃部智子五段(土井道
場)・木下悦子六段(木下道場)・安藤哲郎
六段(小金井同好会)・瀬川一之七段(臥龍



会)・小柳俊一郎六段(泰門会)の五人がそ
れぞれの道場生を受け、演武を披露した。
演武は固め技から始まり、それ以降は自由
技を行った。

出場者は、立ち技・半身半立技等それぞ
れに日頃の稽古鍛錬の成果を見せて都連の
意気軒昂さを示さんと一生懸命に演武、一
分三十秒はあつという間に終了した。

(記・瀬川)

生涯スポーツ功労者表彰を受けて

鷹の台合気道同友会

神谷 正一



本年五月八日(日)、晴れわたる青空の下、

東京体育館メインアリーナにおいて、公益財団法人東京都体育協会が主催する第七十五回都民体育大会及び第二十三回東京都障害者スポーツ大会合同開会式が、コロナ禍で規模縮小とは謳われつつも華やかに行われ、それに引き続いて表彰式が行われました。

その際、私は、東京都体育協会に所属する各種目の団体推薦を受けた十八名の生涯スポーツ功労者の一人として「生涯スポーツ功労賞」をいただくという榮譽に浴し、恐縮するとともに、今後の精進を改めて自分に誓う良い機会を得ました。ご推薦いただきありがとうございます。

昭和五十四(一九七九)年に合



気会に入門し、以来四十有余年、コッコツと稽古を続けるという小さな一歩の積み重ねがここに繋がったものだと思いますが、辿り着けたのは、これまでご指導いただいた先生方や先輩達、また、共に汗を流した多くの道友達のお陰であり、紙面をお借りして深甚なる感謝を申し上げます。

これを機に、今後も倦まず弛まず、地道に小さな一歩を積み重ねていくことを厳かに自分自身に誓います。そのことが、小さいながらも合気道の普及振興の一助となれば、望外の喜びです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

スポーツ優良団体表彰を受けて

新宿合気会

会長 長南 一樹

はじめに、このような賞を受賞できたこと、大変嬉しく思います。弊会をご推薦くださいまして誠にありがとうございます。

私も新宿合気会(旧登録名称・新宿区合気道連盟)と申します。私は七代目会長職を昨年就任することになりました長南一樹と申します。十歳から弊会で稽古を始め三十四年が経過しました。

弊会は昭和三十五年に設立し、今年で六十二年が経とうとしています。道場は新宿スポーツセンター、新宿コスミックセンターで、広々とした道場で基礎・基本技を中心にしつかりとした稽古を行い、そしてびのびと楽しく充実感を感じられるような稽古をモットーに活動をしております。

新型コロナウイルスにより会員数は減少しておりますが、コロナ以前では総勢四十名強、月・水・金曜日に稽古を行っておりました。現在では会員数は二十名程度、水・金曜日に稽古を行っております。

弊会は一九九八年頃より



現師範周参見紳次郎氏によってインドネシアと深く関わりを持ち、氏はバリ合気会の設立から現在まで発展に大きく貢献をされてきました。また二〇一六年からは私が首都ジャカルタに仕事の関係で四年弱滞在することをきっかけにジャカルタ天恵道場と交流、二〇一九年に弊会のグループ道場になりました。

この四半世紀に及ぶ関わりで、二国間の交流も深まりました。

コロナ以前ではグループ全体で百名に及ぶ会員数がありました。今は全体で四十名程からの再スタートです。

思い起こせば、弊会は表彰の類とは一切無縁でした。ただ、本来ならば昨年初めての六十周年の周年行事を行う予定でした。しかし会員が減り存続が危ぶまれる中で決定した方針は、行事の開催より、「稽古と審査の継続化」でした。その状況においてこの度の受賞は周年行事に替わるものとして大変ありがたいものでした。これからも百年に向けて会の運営と日々の稽古を愚直に取り組んでいく所存です。今後とも新宿合気会をよろしくお願い致します。

新規加盟団体紹介

一心会

代表 松岡 宏美

この度は東京都合気道連盟に加盟させて頂きありがとうございます。

当会は二〇二〇年から渋谷区を中心に活動しております。普段の稽古はスポーツセンターで行っていますが、新型コロナウイルスの影響で使用が制限され、ともに稽古を行えるようになったのは昨年の十月。有難い事にそこから新しく入会される方やビジターで参加される方が増え始め、沢山の方と稽古



をできるようにになりました。

「和合の武道」と言われる合気道を子供の頃からやっていますが、人や道場同士の衝突、否定などたくさん見てきて経験してきて、楽しい事も沢山ありましたが嫌な思いもしてきました。しかし、私自身が合気道という存在に人生を救われてきました。

だからこそ合気道の技は勿論、それだけでなくそこから繋がる精神性、自分が思い描き信じている合気道をできるだけ多くの人に伝えていけたらと思っています。

色々な道場の人が分け隔てなく一緒に稽古ができ、そして人の為になる場所を作りたいと思います。一心会を立ち上げました。

まだまだ若輩者で学ぶべき事はたくさんあります。人の手本になれるような指導者になれるよう日々精進して参ります。

今後とも宜しくお願い致します。

勇清塾 (ゆうせいじゅく)

代表 鳥谷 一郎

この度は、東京都合気道連盟へ加入承認いただきありがとうございます。

勇清塾は、公益財団法人合気会本部道場指導部の横田愛明先生を指導師範として、平成三十一年四月に設立された若い団体です。当会では、「響き合い繋がる感動とワクワクを」「心と体を解きほぐし自由で強靱な心身を」「潔く、勇ましく、美しく」を基本理念

として、横田師範が大切にされている「潔さ」、「武道としての合気道」を求めながら、楽しく、ワクワクするような体験や感動を、稽古



を重ねながら探しています。

当会の定期稽古や定期開催しているワークショップには、本部道場や地域の町道場、大学合気道部出身のOB・OG等、数多くの若手有段者が出身の垣根を超えて自由に参加しており、オープンで自由闊達な雰囲気最大の特徴です。

コロナ禍をきっかけとして、剣、杖等の武器稽古にも力を入れており、合気道での「気剣体の一致」、「武器と体術の関連や理合い」等を丁寧に探り、研究しています。稽古場所は練馬区立総合体育館を中心として主に練馬区内の公共施設等で稽古しています。

また、国内及びインドネシアバリ島やイタリア、ブルガリア等のヨーロッパ、北米、南米等、多数の姉妹道場、友好道場があり、国内外の若手指導者と連携・協働しながら、国内外での合宿や合同稽古、ワークショップなどを企画調整、開催しています。

合気道の稽古を通して、素直に愚直に自らの道を探求し、極めていくとともに、世界中の仲間達と繋がり、響き合い、感じ合うことで、言語でのコミュニケーションを超えた感動や相互理解、深い信頼関係の構築を目指していきます。

当会の指導チームは代表含め、まだまだ未熟ではありますが、失敗を恐れず、果敢にいろいろなチャレンジをしていく所存です。

連盟への加入を契機に、様々な活動に参加させていただき、経験豊富な諸先輩団体の皆様からご助言、ご示唆などをいただけることを楽しみにしています。

よろしくお願い致します。

加 盟 団 体 紹 介

板橋区合気会

理事長 野瀬 輝男

板橋区合気会は、昭和四十五年十月、板橋区立小豆沢体育館に武道場が造られるのと同時に、初代理事長・原修太郎師範により設立され、昭和五十年に板橋区体育協会に加盟致しました。

現在は板橋区から一般公開指導を委託され、小豆沢体育館、上板橋体育館、加賀スポーツセンター（旧東板橋体育館）の三カ所の区立体育館において、会員はもとより、会員外の一般区民の方々と一緒に楽しく、元気に、時には厳しい稽古をしています。

その他、曜日毎に高島第二中学校、志村第三中学校、赤塚第一中学校の各武道場でも稽古をしており、日曜日から土曜日まで一週間休むことなく、毎日何処かの道場で稽古に励めることが板橋区合気会の大きな特徴です。



また、例年、夏から秋口にかけて自主講習会を実施しており、平成二十八年九月には本部道場から横田愛明師範、令和元年九月に



は大澤勇人師範をお招きし、ご指導いただきました。

令和二年十月に節目となる創立五十周年を迎えるにあたり、植芝守央道主をお招きしての記念式典を企画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、残念ながら見送ることとなりました。

現在の会員数は大人八十人、子供は五十人を超え、原達昭師範をはじめ経験豊富な指導員達が日々、各道場で熱心に個性豊かな指導を行っています。お近くにお越しの節はお気軽にお立ち寄りください、一緒に爽やかな汗を流しましょう。

文京区合気会

代表 内山 清

昭和四十七（一九七二）年七月に設立し、合気道本部道場より増田誠寿郎師範のご指導を賜り、東京・本郷の文京総合体育館を中心に文京江戸川橋体育館、文京区立第一中学校などで、世代を超えた合気道友が爽やかな汗を流しています。私たち文京区合気会です。

ここ数年の生活の変化や武道への憧れからか、合気道を志す方が増えてきました。

初心者から有級者が多く集まる月曜稽古、並びに水曜稽古（文京区が当会に委託）、有段者やベテランが多く集まる木曜稽古・土曜稽古、そのすべてが同じ技に取り組んで磨き合う日曜稽古と、会員やビジターの方が参加できる週に五回の稽古を設けて、それぞれの技量に合わせた指導を行なっています。

特に日曜日の子供クラスでは、合気道の技はもちろんのこと、発育途上の身体に無理なく体力がつくよう、また礼儀や集中力がつく



ように指導を心がけています。

東京都合気道連盟の皆様とは、例年六月の「東京都合気道錬成大会」十一月の「東京都合気道演武大会」で友好を深めてまいりました。そして二〇二〇年十二月に行われた「東京都合気道リモート演武大会」では、三六〇度カメラによる動画公開に七百回を超える再生数を賜り、有級者の方の発案が大きく身を結んだことに、会員一同いたく感謝いたしました。ご尽力頂いた東京都連事務局様、ご視聴いただいた皆様、あらためて有難うございました。

さて私たちは今、多難な時代を迎えてお



りますが、合気道を通して自己を確立し、開祖が大切とされた「万有愛護」の精神を持って、今年満五十周年を迎えた当会も（記念行事は状況から差し控えました）努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。

千代田区合気会

会長 山嶋 武

千代田区合気会は、今年十月をもって設立五十周年の節目の年を迎えることとなり会員及びOBの皆様と共に継続できた喜びをかみしめているところです。

当会の稽古場所は文字通り千代田区にあり、もよりの神田駅から西はオフィス街、東は日本橋地区の商店街のはざまにあり地の利がよい場所でもある。勤務帰りに学生時代に体験した合気道を追求すべく入会する方々も多い。

（指導者歴）

昭和四十七年十月、早乙女貢師範のご指導で千代田区立スポーツセンターに設立。

昭和五十年早乙女貢師範渡米により、山口清吾師範に師事、平成八年山口清吾師範死去により、平成十年増田誠寿郎師範に師事、現在に至る。

当会の足跡は会員の年齢と共に、また指導された先生方の影響で、稽古風景も様変わりしました。荒々しい稽古から柔らかな稽古、つまり足の運び・腰の動きを使い全身に連動すべき稽古に変わったことでした。会員も開設当初は十名前後でしたが、直近では五十名をこえる大所帯となっています。

当会に限らずこの道場でも実感しているのではと察しますが、合気道全体の平均年齢が高く（当会では、平均年齢五十五歳）近い将来、会の存続や技の継承を心配しているところです。そうした中で一つは、直近、貴紙第三十五号で掲載された「合気道なごみ会」とタイアップして「千代田区合気道連盟」を設立したところです。千代田区はオフィス街でもあり特質かもしれませんが、若年居住者が少ない。それではと、「千代田区合気道連盟」の活動から区報を通じて、老若男女誰でも稽古できることのPRを計画しているところです。

二つめは、当会の理念を引き継ぐ若手指導者層の育成と技の継承をおこなっています。



まずは少グループでの研究会から他の会員への拡散を狙い、会全体をレベルアップしていきたい。

三つめは、フランス、オランダ、ドイツ、ベトナム、韓国など海外の仲間と通常稽古や合宿などで交流を図っており今後とも更に国際化を進め、相互理解を図っていきたい。

合気道は相手と一体にならないと技に繋がらない。日常の中でも、満たされた生活を送っていけるのは合気道の稽古のおかげと思っています。これからは開祖が創設した合気道の基本理念を追い続けて会員と共に歩んでいきたい。

最後に、東京都合気道連盟の会員として、今後とも合気道の普及・発展に尽くしていきたいと考えています。



新 役 員 紹 介

(令和4年4月～令和7年3月)



副理事長
大田 勤

新小岩合気会 会長
東京都合気道連盟の更なる充実のため、微力をつくして頑張ります。皆様のご協力をお願い申し上げます。



副理事長
木下 悦子

合気道木下道場 代表
微力ながら副理事長を仰せつかりました。東京都合気道連盟の更なる充実、発展の為にいっぱい務めさせていただきます。



副理事長
鈴木 俊雄

合気道本部道場指導部師範
(合気会推薦)
よろしくお願い致します。



理事
美濃部 智子

合気道土井道場 代表
東京都合気道連盟の発展を願い精一杯務めます。よろしくお願いします。



理事
嶺岸 正樹

仲池合気道同好会 会長
都連盟が益々発展するように、微力ながら貢献したいと思ひます。宜しくお願いいたします。



理事
井阪 有一

NTT東日本東京合気道部 監督
今期も引き続き、加盟団体のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



理事
数家 誠司

港区合気会 代表
このたび重任させていただきました。微力ではございますが、会員団体の皆様と合気道発展の為、鋭意努力致します。ご指導よろしくお願い致します。



監事
堀越 祐嗣

合気道 北千住道場
微力ながら皆様の御指導の下尽力していきたいと思ひます。宜しくお願い致します。



理事長
藤城 清次郎
港区合気道連盟顧問 (合気会推薦)
再度理事長を仰せつかりました。初心を忘れず都連に貢献出来る理事長として新役員共々歩みたいと思ひます。



副理事長
神谷 正一
鷹の台合気道同友会 代表 (合気会推薦)
今期も引き続き、連盟の円滑な運営に努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



副理事長
小柳 俊一郎
合気道泰門会 代表
今期、副理事長を拝命いたしました。誠心誠意努めさせていただきますのでよろしくお願い致します。



理事
渡辺 隆志
渋谷区合気道同好会 会長
しっかりとお役を勤めるように頑張りたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



理事
安藤 哲郎
合気道小金井同好会 会長
東京都合気道連盟の更なる発展のため、誠心誠意努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



理事
瀬川 一之
合気道臥龍会 代表
加盟団体の皆様のため、東京都合気道連盟を新しい時代に適合した団体になるように尽力して参ります。



理事
大橋 健司
中央区合気会 指導部理事
この度、重任となりました。皆さまのお力添えを賜りながら、合気道の発展に寄与できるよう、微力ながら尽力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



理事
中島 敬二
中野区合気道会 副会長
今期より理事を承りました。東京都合気道連盟に精一杯貢献していきたいと思ひます。



監事
梶浦 真
稲門合気俱樂部 幹事長
今期は監事として新たなチャレンジです。どうぞ宜しくお願いいたします。

東京都合気道連盟

〒162-0056 東京都新宿区若松町17番18号 (公財)合気会内

電話 03-6457-3315

FAX 03-6457-3317

E-mail: info@tokyo-aikido.com

<https://www.tokyo-aikido.com/>

編集後記

コロナ禍で迎えた三度目の夏、異常気象による猛暑、皆様におかれましては、感染症対策と熱中症対策を講じて稽古を続けられていると存じます。来年こそは、思い切り汗を流しながら暑中稽古に励む季節を迎えたいと切に願います。

永らく広報誌を担当しておりました小林副理事長の退任に伴い、新たに担当を拝命致しました美濃部です。皆様に楽しんでいただける誌面作りに励んで参ります。広報誌についてのご意見、感想、またご要望などお寄せいただければと存じます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(記・美濃部)